

事業区分	文化芸術事業		育成・創造事業				
事業名	ARTS FOR EVERYONE ココロのサプリ						
目的・内容	施設の特性を活かしながら、誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくために実施。芸術文化に親しみが無い方々に、多様なジャンルのアートを届け、新しい鑑賞者開発を行う。また、アートマネージャー主体の運営を目指すため、年間を通じてアートマネージャー育成を行う。その他、インターンシップ受入事業として、大学との連携を図る。						
開催日時	①平成23年5月28日(土) 12:05~12:55 プロの演奏家によるヴァイオリンとハープによる親子向けコンサート ②平成23年6月26日(日) 12:05~12:55 地元演奏家によるヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのクラシックコンサート ③平成23年8月25日(木) 19:00~20:00 プロのミュージシャンによるピアノとギターのジャズコンサート ④平成24年2月25日(土) 13:30~14:45 郷土芸能と昔あそびパフォーマンスの公演						
会場	とりぎん文化会館リハーサル室(①)、フリースペース(②③)、展示室(④)						
参加料	無料						
実施状況	参加者数	678名	目標人数	680名	集客率	99.7%	
事業費状況	予算額	収入	0円	支出	1,241,000円	収支比率	—
	決算額	収入	0円	支出	843,205円	収支比率	—
参加者アンケート(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい生の演奏が聞かせて頂いてありがとうございました。とても良い企画で、N響もますます楽しみです。本当の意味でのココロのサプリになりました。 ・子どもと一緒になかなかコンサートに行くことができないのですが、こういう企画があるととてもうれしいです。本物の楽器の音に触れられるのは心が豊かになりますね。ありがとうございました。 ・ヴァイオリンとハープの生演奏がとたも心に響き、癒されました。テレビではクラシックをよく聴いていますが、生演奏はまた格別です。こういう機会であればまた参加したいと思います。 ・無料ですばらしいライブが聴けました。9/9の公演、ぜひ参加したい気持ちになりました。 ・とても楽しかったです。本番も心待ちにしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽鑑賞以外の方も多数おられるため、会場のノイズが多い。 ・イベントの告知が例えばTVなどでも分かれば嬉しい。もう少し情報を多く欲しいです。 						
1次評価(内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とりぎん文化会館のPR事業として、加えて、鑑賞公演のプレ事業として、誰もが気軽に芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい鑑賞者の開発に繋げることができた。また、ホールの公演になかなか来られない方々(小さな子ども連れの家族、ご年配の方外)にとって、本字業は参加しやすい機会となっている。 ・新たにアートマネージャー2名を起用して育成するとともに、今年度も鳥取大学と連携してインターンシップを導入し、アートマネジメント人材の育成に繋げることができた。 ・ボランティアの方に活動実践の場を提供し、協働して事業運営を行った。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候が悪い時期は、参加者・出演者に配慮した会場が実施するのが望ましい。 ・外部からのアートマネージャー起用はメリットが大きいですが、最初に事業の目的や依頼事項などを十分に説明し、理解を得た上で進める必要がある。 						
2次評価(財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬遠されがちな文化事業を県民の身近なものにすべく、いかに親しみを感じてもらえるものにするかというスタッフの努力は感じられる。また、子ども連れの家族が多く、将来の展望を開くものとして、本字業の目的は一定の成果を上げている。 ・外部アートマネージャーを導入して県民との連携を図ることは、プレ事業を推進する方向性として良い。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ入場者はほぼ目標に達しているとはいえ、本公演の鑑賞者に必ずしも結びついていないため、プレ事業をさらにレベルアップすることで、本公演に期待を抱かせると思う。 ・関係者が結束して財団の企画は面白いし、期待できるという実績と信頼の醸成が期待される。 						
今後の対応、取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も出演者や環境に配慮して、良質なものを提供し、事業目的の達成に努める。また、インターンシップ受入事業として、引き続き、鳥取大学との連携を図っていく。 ・アートマネージャーについては業務内容や提出期限の確認をきちんと行って相互理解のもと、パートナーシップを構築して事業を推進していく。 						